

令和7年11月28日(金)



学校は樹木が多い施設なので、四季の移ろいを肌で感じられる一方で、この時期は落ち葉の処理に苦労します。本校の正門の両側にあるソメイヨシノとヤマザクラは、今がちょうど落葉の時期です。落ち葉を踏みしめるといとなんとなく風情がありますが、雨が降れば滑りやすくなりますし、風が吹けばグラウンドに舞ってしまい体育等の授業に支障がでます。本校は、地域の方が毎朝ボランティアで落ち葉掃きを行ってくださるので、校地内に落ち葉が吹き溜まることはありません。とても助かっています。今日は、正門入ってすぐの円形花壇にあるツツジの刈込を行っていただきました。ありがとうございました。



3年生の社会の授業は、契約と消費生活についてでした。本時は、契約とは何かを学び、安全・安心な消費生活について大切なことは何かを考えました。この学習では、身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を学びます。また、資源の分配や金融についても学びます。本時は、導入でいくつかのクイズを生徒に出しました。「クリスマスに届くようにケーキを注文したのに、実際に届いたのは26日だった。代金を支払うべきか？支払わなくてもよいか？」「10万円でパソコンを買ったけど、1週間まったく使わなかったので返品することにした。返金されるか？されないか？」など、身近に起こりそうな場面を取り上げました。前者は契約とは何かに関する質問、後者は消費者保護に関する質問です。このほかにもネットショッピングに関する質問もありました。身近な消費生活という視点でいうと、店舗での購入以外に、ネット上のフリーマーケットやサブスクリプションなど、消費行動も多岐に渡っています。また、昔は現金による直接のやりとりが全てでしたが、今はクレジットカード、電子マネー、ポイント払い、など支払い方法も様々です。また、そこにつけ込んだ詐欺も横行しています。うっかり騙されないように、経済や金融の仕組みを学び、賢い消費者となることが、安全・安心な生活につながります。



2年生の理科は、気象についての授業でした。画像は、本日の天気図をもとに生徒がお天気キャスターとなって天気予報を行っているところです。かなりざっくりとした予報（笑）でしたが、気温の変化や風の強さ、雨が降るのかどうかなど、主要な気象要素を踏まえて説明できました。本時は、日本の天気の特徴について学びました。季節によって変化する風向き、高気圧と低気圧の配置、海洋の影響などです。南北に延びる島国であり、また四季がある日本は、天気予報も一筋縄ではいきませんが、気象条件がもたらす恵みと気象災害と併せて理解を深める必要があります。

